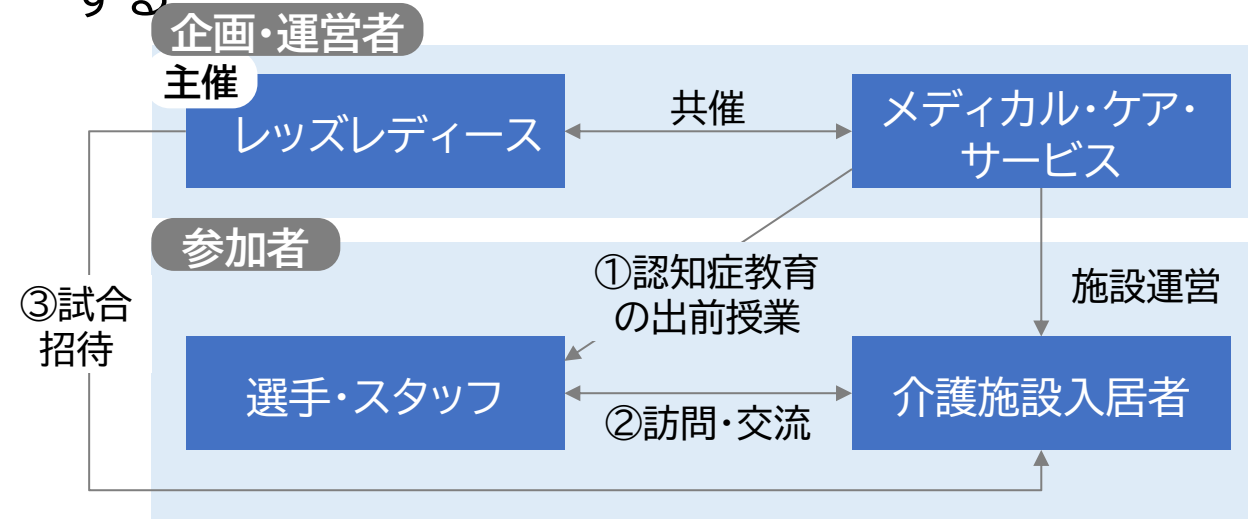


## イベントの目的

「認知症」を正しく理解し、共生社会の実現を目指す。  
また、認知症のある方への接し方や症状改善につながる知識を知る。

## 取組内容・体制

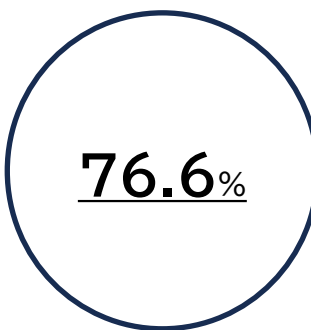
①選手・スタッフに「認知症」を考える講座を行う。②認知症のある方との接し方を学んだ選手が、介護施設に訪問・交流する。③入居者を試合日にスタジアムに招待する



## インパクトサマリ

講座を通じて、認知症を他人事ではなく自分事として理解するだけでなく、学んだ状態での当事者との相互コミュニケーションを通し、共生社会の実現に寄与した

### 参加者満足度



### 参加者の意識・行動変容で生み出される主な社会価値

選手・スタッフ

認知症理解を通じた、  
認知症に対し主体的に向き合う意識の向上

介護施設  
入居者

認知症理解が進んだ選手との交流を通じた  
孤立感の軽減

選手・スタッフ

交流を通じた  
DE&I理解の促進

その他の創出効果：仕事に対する幸福度の向上、企業・クラブの認知向上等


  
入居者

- 歌をうたって、お話もできて、楽しかったです
- 皆様とかいわができ、がんばっていて応援したいと思えた

  
選手・スタッフ

- 講義を受けて認知症についてのイメージが良い方向に変わった、先入観に気づかされた
- 最初の講義で、認知症のことを詳しく教えて頂き、少しでも理解をした上で実際に訪問できてよかった

  
施設  
スタッフ

- 認知症への偏見なく、「人」同士として、接して頂いた
- 今後も交流を継続させていきたい